

基本条例制定10年 栗山町議会を表彰

マニフェスト大賞

【栗山】優れた地方自治の取り組みを表彰する「第10回マニフェスト大賞」の特別表彰に町議会が選ばれ、11日に町役場で伝達式が行われた。同大賞実行委員長の子籠敏人・東京都あきる野市議は「10年前に全国初の議会基本条例を制定し、全国の議会改革に影響を与えた」とたたえた。同大賞は、地方議員有志でつくるローカルマニフェ



子籠敏人実行委員長から表彰状を受け取る鶴川和彦議長(中央)

スト推進地方議員連盟など実行委が主催。第10回の結果は昨年10月に発表された。栗山町議会は、第1回で最優秀成果・議会賞、第3回で最優秀成果賞、第4

回で審査委員会特別賞、第5回で議会改革優秀賞を受賞している。

伝達式では、子籠実行委員長が栗山町議会の鶴川和彦議長に表彰状を手渡し、鶴川議長は「住民の意見を聞くことを大切に、やるべきことをやってきた」と振り返った。

続いて、鶴川議長を含む町議4人が、那覇市議や道議など同議員連盟の地方議員11人と懇談し、議会基本条例制定から10年間の歩みや議会報告会の現状などについて説明した。

(田中雅章)

芽室町議会

全国一の改革度を披露

道外地方議員ら視察

【芽室】政策型の地方議会推進を図る「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」に所属する全国各地の議員が12日、町議会(広瀬重雄議長)を視察した。

広瀬議長や事務局職員らが、政策を形成する仕組みについて説明、地方議会の在り方や二元代表制への持論を披露した。町議会は、議会たよりに通じた情報公開、ICT(情報通信技術)などを積極的に活用している。芽室は同大賞の計9人。芽室は同大賞で3回受賞したほか、同研究所が昨年発表した全国の地方議会の改革度ランキングで1位となった。



広瀬議長(手前)の説明を聞く子籠実行委員長(右)ら

で1位となった。実行委は町議会の実績を、議員や事務局から直接聞くため訪れた。

広瀬議長は、同サイクルを通して政策実現の事例が少ないことに触れ、「改革と言われ注目されるのが目的ではなく、議会基本条例に基づいてやり続けなければならぬ」と語った。実行委員長で、東京都あきる野市議会の子籠敏人議員は「他の議会の事例を柔軟に取り入れたい」と話した。同大賞で3回受賞したほか、同研究所が昨年発表した全国の地方議会の改革度ランキングで1位となった。

加実... 創生... 忠類... 藤茂... 日... 年度... 類地... 加実

忠類と周辺を巡る3つの自転車「ちゅうるいサイクルマップ」

ス(10・5)